

外観



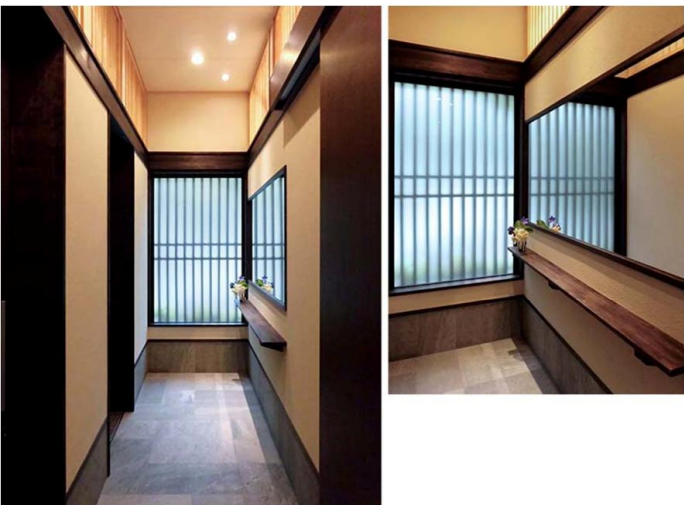
太閤橋(たいこうばし)おもてなしトイレは、周辺の風景に溶け込む、昔ながらの旅館をイメージした建物デザインの公衆トイレ。待ち合わせ場所としても活用できるように、時計とベンチを設置した。

トイレ案内図



向かって左から男性トイレ、多機能トイレ、女性トイレの配置。木枠に収まったサインデザインが、トイレ内の随所に採用されている。

女性トイレ 全体



和調な雰囲気を湛える通路の左手に個室完結型の大便器ブースを2ブース設置し、通路の右手にパウダーコーナーを設置。各コーナーに花を飾り、おもてなしの空間を演出している。

女性トイレ 大便器ブース



大便器ブースは、用足しから手洗いまで個室内で行えるひろびろとした個室完結型。小さなお子様連れに配慮して、ベビーチェア、フィッシングボードを設置している。

トイレ入口



男性トイレは湯治客、多機能トイレは温泉街の遠景、女性トイレは湯女が描かれたドアの絵は、「観光地のおもてなしはトイレから。ゆっくり息抜きしてもらいたい」との思いを込めた、神戸芸術工科大学生の作品。

男性トイレ 全体



トイレ空間は、ダークブラウンとグレーを基調としたシックで落ち着いた空間となっている。

女性トイレ 大便器ブース



「折り紙」をモチーフとしたシャープなラインと、フラットな面で構成された洗面器デザインが和の趣の中にモダンな空気感を演出。各洗面器には、カウンターの水滴を拭くための清潔なタオルを備えている。

多機能トイレ



車いす使用者やオストメイトなどさまざまな利用者に配慮し、RESTROOM ITEM 01フラットカウンター多機能トイレバックを採用。子どもの背丈の洗面器と幼児用大便器を設置し、お子様連れに配慮。

男性トイレ 小便器コーナー



床の清掃性や節水性に優れた、壁掛式の自動洗浄小便器を採用。より小便器に近づいて用足しをしてもらう目的から、「一歩前へ」のサインを前方壁面に掲示している。

男性トイレ 大便器ブース



ウォシュレットは、電源不要で、ボタンを押すたびに発電するエコリモコンを採用。女性トイレ同様、男性トイレにもベビーチェアを設置し、お子様連れに配慮。使用法のサインデザインにも個性を演出している。

建築概要

名称	太閤橋(たいこうばし)おもてなしトイレ
所在地	神戸市北区有馬町1257
施主	一般社団法人 有馬商店会
設計	有限会社豊田建築設計室一級建築士事務所
施工	株式会社笠谷工務店
竣工年月	2016年2月

水まわりの特長

＜建物の特徴＞
江戸時代の温泉番付では、最高位の西大関に格付けた「有馬温泉」は、日本三古湯の一つとして古来より有名な名泉である。近年、訪日外国人観光客の増加に伴い、有馬温泉玄関口に位置するバス停「有馬温泉」前に、周辺の風景に溶け込む、昔ながらの旅館をイメージした建物デザインの公衆トイレ「太閤橋おもてなしトイレ」を新築。有馬温泉、神戸芸術工科大学、TOTOの3者コラボにより完成した。待ち合わせ場所として活用できるように、時計とベンチを設置し、おもてなし感があふれるトイレを実現している。

＜トイレの特長＞
神戸芸術工科大学生の演出が活きたトイレ。女性トイレは、用足しから手洗いまでの一連の動作をブース内で済ませられる個室完結型。また男女とも大便器は、環境に配慮した節水型のパブリックコンパクト大便器と電源不要のエコリモコン搭載ウォシュレットを採用。清掃方法は、清潔さを保つ乾式清掃を採用し、さらに各洗面器にはカウンターの水滴を拭く為の清潔なタオルを備えており、ソフト面でもおもてなしに配慮している。また、多機能トイレは、車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなどさまざまな利用者に対応できる設備を完備。屋外トイレのため、防犯対策や維持管理への配慮から夜間施錠している。(開錠時間:8時～19時)